

フランス研修会下見報告書

(公財) 全国高体連フェンシング専門部
普及委員 恒松 健児

11月22日(日)～28日(土)に全国高体連フェンシング専門部指導者研修会を海外で開催するにあたって、打合せおよび下見に行ってきた。構成員は、藤澤義彦先生(同志社大学教授)、釜井昭人全国高体連フェンシング部部長(神奈川県)、恒松健児普及委員(岡山県)の3名。日程は、9月9日(水)～13日(日)の3泊5日である。

9月9日16:00に、フランス国シャルル・ド・ゴール空港へ到着。バスにてパリ市内のホテルへ向かった。所要時間は夕方の混雑もあり1時間30分程度かかった。

9月10日、午前中にC.R.E.P.S(クレップス)と呼ばれるスポーツ・技術・能力開発センターへ打合せに行った。この施設はパリ郊外南部にあり、フェンシング競技を含めて、13種目のスポーツを強化している。パリ市内より電車で約30分、バスで10分の場所にある。クレップスではフィリップ・オムネス氏(バルセロナオリンピック個人フルーレ金メダル)に対応していただき、指導者・宿泊・食事等の打合せをおこなった。特に指導者の面では、フランス国フェンシングフルーレナショナルチームの元コーチであるクリスチャン＝マルタン氏とステファン＝マルセラン氏の2名に実技指導をしていただくことになり、有意義な研修になると強く思った。また宿泊もクレップスの施設を利用できるようになり、食事も3食付いているということで、大いに優遇してくれた。

午後は、パリ中心部にある、レーシングクラブ(Racing Club de France)を訪ねた。ここは、数々の有名選手を輩出し、オリンピック女子個人エペで2連覇したローラ・フレッセルなどがいる。このレーシングクラブで幼少期から成年までの指導方法を見学できることになった。9月10日は、以上の研修施設にて挨拶と打合せができ有意義な1日となった。また、藤澤先生の力添えも大いにあり、打合せでの通訳からバス・地下鉄などの乗車や切符購入まで、細部にわたりしていただいた。

11日はパリ市内周辺を巡り、地下鉄(METRO)の乗り方や切符の購入方法など、11月に本隊が動く時に必要な活動を行った。凱旋門・ルーヴル美術館・エッフェル塔・ヴェルサイユ宮殿など多くの文化遺産も多く点在し、社会見聞も広まる研修になると感じた。

12日午前、パリ市内から高速鉄道(RER)で、シャルル・ド・ゴール空港へ行き、日本へ帰国した。

実技研修でフェンシングの本場フランスの技術および戦術指導方法を学び、クラブ見学では、幼少期から青年期までの一貫指導を勉強していきたい。クレップス(公立教育スポーツセンター)の施設も肌で感じることができ、国家体制で競技力を強化して様子も見られる。今後の日本の競技力向上や選手育成システムを参考にできる研修会になると思う。

C.R.E.P.S(クレップス) パリ市郊外



レセプション



体育施設



フェンシング場(クレップス)



フェンシング場(クレップス)



宿泊施設(クレップス)



部屋の様子(クレップス)

Racing Club de France(レーシングクラブ) パリ市中心部



レーシングクラブ外観



フェンシング場の様子



フェンシング場横のBar



更衣室

1 1月宿泊予定のホテルおよび周辺



ノホテル・トゥール・エッフェル



パリ市内の様子